

令和8年度 能美市立浜小学校 学校経営方針

1 能美市教育委員会学校教育の目標

次世代を切り拓く人材の育成と地域に根ざした学校づくり

2 本校の校訓と教育目標

校 訓

誠実 勤勉 勇気

教育目標

未来を創る人の育成

3 めざす児童像

誠実 言葉を用いて、自他を尊重する子 [協調性]
勤勉 学びに責任をもち、自ら学ぶ子 [主体性]
勇気 心身を整え、よりよく生きる子 [革新性]

4 めざす教師像

- (1) 児童・保護者及び地域の信頼と期待に応える教師
- (2) 学び合いながら指導力向上に努める教師
- (3) 危機管理意識を常に持ち、社会人としてのモデルとなる教師

5 めざす学校像

- (1) 【あたたかい学校】 一人ひとりのよさを認め合い、互いの存在を大切にする学校
- (2) 【落ち着いた学校】 聞く態度・規範意識・あいさつ・反応を備えた行動ができる学校
- (3) 【学ぶ喜びのある学校】 「分かった・できた・つながった」という実感が味わえる学校
- (4) 【信頼される学校】 地域とともにあり、地域に開かれた学校

6 今年度の重点目標

すべての子どもが「元気に明るく笑顔で登校」できる学校

みんなで一緒にがんばる 3つの「あ」

・ ㊦ あいさつ

・ ㊦ あたたかい

・ ㊦ あきらめない

7 重点目標達成に向けた方策

(1) 「令和の日本型教育」を可能にする組織体制確立

＜課題と重点を共有し、行動のベクトルを一つに＞

- ①主任を中心とした各組織がPDC Aサイクルを機能させ、「課題は何か、重点は何か」「まず何から取りかかるか」を常に明確にし、行動のベクトルが一つになる組織を構築する。
- ②教育目標達成に向けた学力向上プランの組織的・継続的な実施と検証のフィードバック。
- ③高い危機管理意識を土台にした安全・安心な学校づくり。
- ④ICT 利活用による業務の効率化・平準化のさらなる推進。

(2) 児童の資質・能力を高める主体的・対話的で深い学びの実現

＜繋がる学び ～自立した学び手の育成と深い学びの実現～＞

- ①「聴く」の重点指導。「落ち着いて聞いて→集中して考えて→アウトプット」という基本的な学習習慣の定着。
- ②学びを深める「繋がり」を意識した、繋がりが連動する授業づくり。
- ③付きたい力を明確にした目標達成する授業。
- ④セレクト学習の充実と自己調整できる学習過程。

(3) 安全・安心を生むあたたかなつながりと校風づくり

＜がんばりたい、明日も来たい ～活躍の場やあたたかな居場所づくり～＞

- ①生徒指導の4つの視点を生かしたルールとリレーションが確立した集団づくり
 - ・自己存在感の感受 →ほめられるしかけづくり。「いいね!」「ありがとう」がいっぱい。
 - ・共感的な人間関係の育成 →「あたたかい反応」による相手を尊重する意識の向上。
 - ・自己決定の場の提供 →セレクト学習でので主体的な選択・判断の場。
 - ・安全・安心な風土の醸成 →全学年ベクトルを合わせたルールの指導と規範意識の醸成。
- ②いじめや不登校を見逃さない組織的な支援体制。
- ③心のこもったあいさつとあたたかな言葉かけによるつながりづくり。
- ④児童主体の特別活動（行事や児童会活動）を通して、自主性と協働性を養う

(4) 健康で安全な生活の習慣化 <主体的に健康づくりに取り組む児童の育成>

- ①規則正しい生活と感染症や熱中症等の対策ができる自己管理能力の育成。
- ②スポチャレを通しての運動の奨励と体育授業の充実による体力向上。
- ③縦割清掃活動による「勤労奉仕」と「思いやり」の醸成。

(5) 家庭・地域との連携・協働 <地域と連携した教育とふるさと愛の醸成>

- ①学校運営協議会との連携による社会に開かれた教育活動の推進。
- ②ふるさと能美市を愛する心と持続可能な社会の視点を養う学習活動の推進。